

第1回 玉掛け技能講習（初任時）講師技能向上 研修開催のご案内

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当協会の実施する研修につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、標記研修の開催を下記により実施することといたしましたので、ご案内をいたします。

優れた内容と質の高い技能講習を受講者に提供することは、登録教習機関として重要なテーマであります。この研修は、新任講師（初任時）を対象として、講師の技能向上をめざしたものであるとともに、登録教習機関の教育方法の見直しや改善にも役立つものとしております。

なお、本研修の資料としています玉掛け技能講習実技指導要領テキストや DVD 補助教材は、貴機関での講師研修会等で実技指導の統一化のためにもご活用いただけるものと考えます。

【この研修の主な内容】**① 目的**

- ・講師としての基礎的な知識と情報の入手
- ・学科／実技の教え方の習得と指導能力向上
- ・登録教習機関の講習内容の充実とレベル斉一化

② 研修の内容**【学科】・各種教育技法及びインストラクション技術の向上**

- ・メーカーの講師による最新技術情報把握
- ・講師に求められる各章の専門知識
- ・関係法令体系等の再確認と効果的な講習方法
- ・災害事例研究

【実技】・全登協「実技指導要領」に基づく効果的な指導方法

- ・玉掛機材・用具の点検方法 ほか
- ・実技採点方法、減点基準の通達の確認と採点演習
- ・グループ討議を通じて採点方法の再確認と採点方法の斉一化

記

1. 研修期間 2026年10月1日（木）9：00～17：00
2026年10月2日（金）8：30～16：00

2. 開催場所 株式会社シグマ 東京クレーン学校
〒124-0013 東京都葛飾区東立石 1-3-16
Web：<https://heiwabashi.co.jp/crane/>

3. 定員 20名

※申込の受付は先着順とし、定員に達し次第、締め切とさせていただきます。

なお、申込締め切り時点において受講希望者が5名以下の場合は、開催を中止させていただきます。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

中止の場合、受講申込者には直接ご連絡させていただきます。

4. 研修内容等 添付「スケジュール・カリキュラム」を参照ください。

5. 受講料 会員 40,000円（教材費、消費税を含む）
非会員 65,000円（同上）

6. 申込方法 及び 申込期限

【申込方法】

- ・当協会ホームページの開催案内に掲載している「申込フォーム」から必要事項を記入してお申し込みください。

申込みが完了しますと、申込を受け付けた旨の「申込受付通知」が自動送信され申込が『確定』します。

【申込期限】 2026年8月10日(月)

- ・受講申込みの受付は先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。

7. 研修会場へのアクセスについて

添付『案内図』及び下記 Web.を参照ください。

<https://heiwabashi.co.jp/crane/access/>

- ・京成立石駅から徒歩 12分（約1km）

または

- ・JR 新小岩駅より平和橋自動車教習所の送迎バスをご利用の方は、申込フォームの『送迎バス利用の有・無』必須項目に『有』をご入力ください。 <https://heiwabashi.co.jp/school/pickup>

駐車場は利用できないため、車でのご来場はご遠慮ください。

8. 宿泊について

宿泊が必要な方は 各自で 手配をお願いいたします。

所定の時間までに、各自研修場所にご参集ください。

【ご参考】

宿泊先：最寄り駅（JR 新小岩駅）近隣のホテルは以下の通りです。

「サイプレスイン東京」 <https://www.cypresshotels.jp/tokyo/>

- ・住所：〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 1-2-5

- ・TEL：03-5671-3122 FAX：03-5671-3124

9. 昼食

- ・受講中の昼食は、各自手配の上持ち込み下さい。近隣にはコンビニ等食事施設が少ないため、ご留意ください。

※お弁当の注文を受け付ける予定です。（交渉中）

10. 受講案内等の送付

- ・原則として、開講日の約10日前を目途に、受講案内等を申込時にご入力頂いたメールアドレス宛にメール添付送信いたします。

11. 受講料の支払方法等

- ・（適格）請求書を発行いたします。

※請求書は、**申込締め切り後に申込時にご入力頂いたメールアドレス宛に添付送信させていただきます。**

- ・受講料は、**開催日の2週間前までに**、下記の口座にお振込願います。

振込先：みずほ銀行 芝支店 普通預金 口座番号 2890991

口座名義 一般社団法人 全国登録教習機関協会

ジャゼソコウトウキョウキョウカキョウカイ

- ① 都合により入金が遅れる場合はご連絡ください。
- ② 銀行振込の場合は、振込金受領書をもって領収書に代えさせていただきます。なお、振込手数料はご負担願います。
- ③ 申込内容等の変更（受講者の変更等）の場合には、当協会にご連絡ください。
- ④ また、原則として**開催日の1週間前以降のキャンセルに伴う参加費返納には応じかねますので、ご了承ください。**
（除く、当協会の都合で中止・延期・他の研修への振替）

【問合せ先】：

研修会場への直接のお問い合わせはご遠慮願います。

(一社)全国登録教習機関協会

〒108-0014 東京都港区芝 5-27-14 小川ビル 6F

TEL:03-3456-4787 FAX:03-3456-1304

E-mail：担当： kenshu@zentokyo.or.jp（浅野）

以上

添付『案内図』

京成立石駅からのご案内

東京クレーン学校まで徒歩約12分(約1キロ)

★敬礼出て左に行き階段を登り、さらに左に行き階段を下りる

★中国料理「孝蘭」の手前を左折



★セブンイレブンを右折



★美容専科「らぼーと」を左折

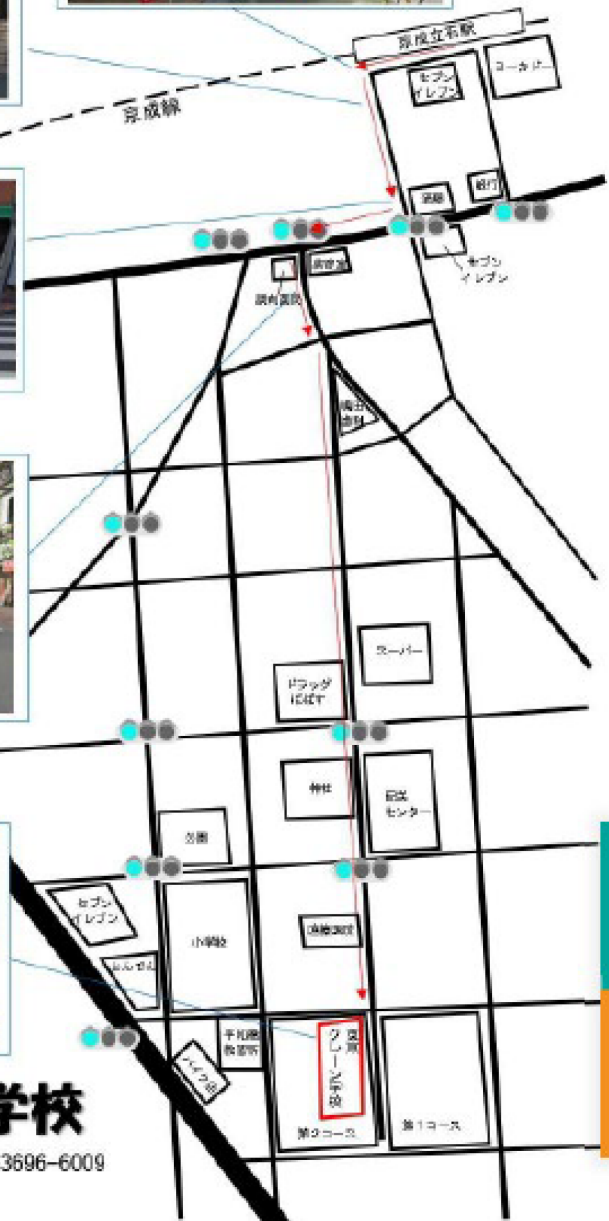


★右手に東京クレーン学校があります



東京クレーン学校

葛飾区東立石 1-3-16 電話 03-3696-6009



玉掛け技能講習（初任時）講師技能向上研修スケジュール

（添付）

2026年10月 1日～10月 2日
一般社団法人 全国登録教習機関協会

		講師等	研修時間
第 1 日 目 （ 学 科 研 修 ）			
1	開講式及びオリエンテーション	事務局	9:00～9:10 (0:10)
2	自己紹介	全 員	9:10～9:30 (0:20)
3	講師の役割と教育技法の活用	全登協 講 師	9:30～10:00 (0:30)
	① 講師の役割とは ② 教育技法とは		
4	インストラクション技術の向上について	同 上	10:00～10:30 (0:30)
	①インストラクション技術習得の必要性 ②効果の高い講習を行うためには		
休 憩			10:30～10:40 (0:10)
5	教科目別の教え方について	同 上	10:40～11:40 (1:00)
	① インストラクターに求められる専門性を習得する		
	② 各科目ごとの重要ポイントを習得する ◆第1章・第3章		
休 憩 (昼 食)			11:40～12:30 (0:50)
6	玉掛け用具等の専門知識	神鋼鋼線工業（株） 講師	12:30～14:00 (1:30)
	①玉掛け用具の技術・つり具、荷役器具 について ②玉掛け用具の正しい取扱い、点検、整備、管理		
休 憩			14:00～14:10 (0:10)
7	教科目別の教え方について	全登協 講 師	14:10～15:20 (1:10)
	① インストラクターに求められる専門性を習得する		
	② 各科目ごとの重要ポイントを習得する ◆第3章・第4章		
休 憩			15:20～15:30 (0:10)
8	第5章 関係法令・災害事例	全登協 講 師	15:30～17:00 (1:30)
第 2 日 目 （ 実 技 研 修 ）			
1	オリエンテーション	事務局	8:30～8:40 (0:10)
2	第2章 クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識（Ⅰ）	全登協講師	8:40～9:40 (1:00)
	休 憩		9:40～9:50 (0:10)
	第2章 クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識（Ⅱ）	全登協講師	9:50～10:50 (1:00)
	休 憩		10:50～11:00 (0:10)
3	実技 玉掛けの方法（作業前準備・基本作業・応用作業）	東京クレーン学校 講師	11:00～12:00 (1:00)
	① 玉掛け技能講習実施前の準備等 （つり荷・実機・玉掛け用具・講習場所），玉掛けの為の合図 ② 基本作業・応用作業の模範演技		
休 憩 (昼 食)			12:00～12:50 (0:50)
4	実技採点の進め方の確認（実 技）	全登協講師 東京クレーン学校講師	12:50～13:50 (1:00)
	① 「減点基準」の説明（DVDにて） ② 講師による実技模範演技 ② 講師による（故意にミスした）実技演技による採点実習		
5	実技採点演習	全登協講師 東京クレーン学校講師	13:50～15:30 (1:30) （適宜 休憩を 挟む）
	① 講師による「実技演技」の受講者全員による採点演習		
	② 「各自の採点結果」をグループにて討議・取纏め・発表 ③ ビデオによる「実技演技」再現と減点箇所の再確認 ※ 再確認により採点基準 & ポイント等の齊一化を図る		
休 憩			15:30～15:40 (0:10)
6	総括質疑（アンケート記入含む）	（全 員）	15:40～15:50 (0:10)
7	閉講式・修了証交付	事務局	15:50～16:00 (0:10)

2026年10月1日～2日
 (一社)全国登録教習機関協会

第1回 玉掛け技能講習(初任時)講師技能向上研修カリキュラム

(研修のねらい)

この研修は、登録教習機関における講師経験3年未満の新任(初任)の講師を対象として、技能講習の学科と実技の両科目について、講師として身につけるべき基礎的な素養を習得することを目的とする研修です。

(到達目標)

この研修の受講を通じて、玉掛けに関する基礎的な知識、情報を習得し、併せて、教科目の教え方を体得したうえで、この教科目をスムーズに教えることができること。

(第1目) 学科研修			
	研修科目	研修内容	時間
1	オリエンテーション (学科研修カリキュラムの全体構成、各研修科目のねらいと内容を概説する。)		10分
2	自己紹介		20分
3	講師の役割と教育技法の活用	① 各種教育技法の種類と有効性について解説し、学科講習で採用する場合のメリットを習得する。 ② 教育技法を使用して学科講習を行う場合の進め方とその効果について解説・習得する。	30分
4	インストラクション技術とは	①インストラクション技術とは何か?目的・意義を解説し、インストラクション技術向上の必要性を理解・習得する。	30分
休憩			10分
5	教科目別の教え方 1章 クレーン等に関する知識 3章 玉掛け用具の種類と取扱い	① インストラクターに求められる専門知識(各教科目(章)毎の重要ポイント・注意事項等)について解説し・習得する。 ※各種装置の構造・機能に関する基礎知識	60分
休憩(昼食)			50分
6	玉掛け用具等の専門知識 ※メーカーの講師による説明と製造工程の紹介等	① 玉掛け用具の新技术・新製品(つり具、荷役機器)を紹介する。 ② 玉掛け用具の正しい取り扱い、点検・整備、管理方法等を紹介する。	90分
休憩			10分
7	強化目別の教え方 3章 玉掛け用具の種類と取扱 4章 玉掛け作業	① 「インストラクターに求められる専門知識(各教科目(章)毎の重要ポイント・注意事項)について説明し・習得する。 ※玉掛け作業の基本と手順、合図の方法等	70分
休憩			10分
8	5章 関係法令・災害事例	① 「関係法令」講義時、特に受講生に伝えておきたい法令等を紹介する。	90分

		災害事例研究の必要性を概説する。※玉掛け作業の基本と手順、合図の方法 等	
(第2日目) 学科研修			
1	オリエンテーション (2日目の学科・実技研修の目的・研修の進め方を説明する。)		10分
2	クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識 (I)	① インストラクターに求められる専門知識 (玉掛け作業に必要な力学) に関する重要ポイント・注意事項等を習得する。	60分
	休 憩		10分
	クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識 (II)	② インストラクターに求められる専門知識 (玉掛け作業に必要な力学) に関する重要ポイント・注意事項等を習得する。	60分
	休 憩		10分
(第2日目) 実技研修			
3	玉掛けの方法 (1) 実技実施前の準備等、玉掛けの為の合図 (2) 基本作業・応用作業	① 吊り荷・実機・講習場所の準備に関する留意事項及び各器具等の点検方法について習得する。 玉掛けの為の合図について ② インストラクターによる基本操作・応用作業の模範演技。 (質量確認、玉掛用具の選定、荷のつり上げ、定められた経路による運搬、定位置への荷下し)	60分
休 憩 (昼 飯)			50分
4	実技採点の進め方	① 実技試験の採点は、通達により「減点基準」が定められており、それらの再確認 (DVD 映像にて) と各登録教習機関における「減点基準」に係る差異に関する情報交換を行う。	60分
5	実技採点演習	① インストラクターが故意にミスをした「演技」を行い、受講者全員が全登協編の採点表に基づき採点を実施する。 ② グループに分かれて減点結果の差異について、その要因等の分析討議をする。 ③ インストラクターは、故意にミスした「演技」を再現し、見落とし個所の再確認を行い、基準の斉一化を図る。	90分 ※適時休憩を挟む
休 憩			10分
6	総括質疑 (アンケート記入、着替え含む)		10分
7	閉講式・修了証交付		10分